

# 一般外科・小児外科・肛門外科

## 1. 概要

### (1) 一般外科・小児外科

2015年の手術総数は1,621件で、そのうち15歳以下の小児手術は177例。緊急手術は296件（18%）。対象疾患は、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から消化器・乳腺の悪性腫瘍まで幅広い。

腹腔鏡下手術は、胃癌切除106件中43件（41%）、大腸癌切除185件中71件（38%）、肝部分切除31件中9件（29%）、肝外側区域切除2件中1件に対し行われた。2014年11月より直腸癌に対するロボット支援下手術を臨床研究として開始し、2015年には16件行った。また2015年4月からは早期胃がんに対してもロボット支援手術が開始され2件行った。

乳癌手術は134件で、乳房温存手術は63件、センチネルリンパ節生検陰性は97件であった。

肝切除は49件で、疾患別内訳は、原発性肝癌17、転移性肝癌22、胆道癌8、その他2。膵頭十二指腸切除は19例全例が亜全胃温存で行われ、疾患別内訳は、膵癌8、胆嚢・胆管癌3、乳頭部癌5、十二指腸癌1、I P MN 1、漿液性嚢胞腺腫1であった。

上部消化管潰瘍穿孔19例のうち9例に大網充填術が施行され、非手術的保存療法は10例だった。腸閉塞入院は165例のうち47例（28%）に手術が施行された。

小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携し治療にあたっており、新生児手術は10例であった。

一般外科全体の入院総数は2,203人と昨年の2,105人よりやや増加し、平均入院期間は11日とこちらは昨年の12.2日より減少していた。

（第一部長 平松 和洋）

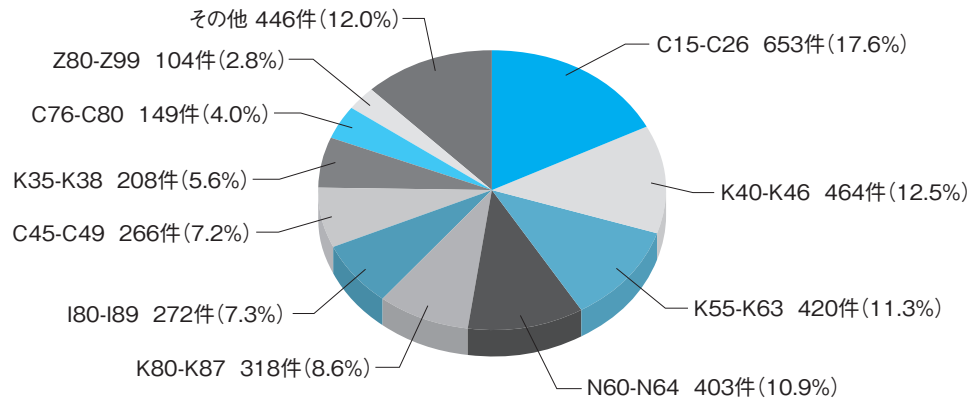
### (2) 肛門外科

“肛門外科”は当院移転新設に伴い一般外科から離れ単科（こう門科）と標榜されたが、診療・治療は一般外科と共同で運営している。外科としての外来診療で、痔核を筆頭に肛門疾患、症状にて受診される患者様は多いが、専門性を必要とした治療においてはやはり専門家での診療・治療を希望される方も多い。肛門外科として標榜している診療日は木曜日の日だが、常勤の外科医でもあるため日々肛門外科として診察や治療に当たっている。外来診察の際は、患者様が安心して受診できるような応対・環境整備を心掛け、診察で患者様に不自由・不快な思いを持たれないように努力している。良性疾患であり、外来処置や生活指導・薬物療法など保存治療に重きを置き、患者様の症状によって手術適応を決めている。一方、手術に伴う“ストーマ外来”で人工肛門患者様のサポートを継続して認定看護師とともにしている。

（部長 柴田 佳久）

## 2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：3,703件



### ICD-10 中間分類項目

C15-C26：消化器の悪性新生物

K40-K46：ヘルニア

K55-K63：腸のその他の疾患

N60-N64：乳房の障害

K80-K87：胆のう<嚢>, 胆管及び膵の障害

I80-I89：静脈, リンパ管及びリンパ節の疾患, 他に分類されないもの

C45-C49：乳房の悪性新生物

K35-K38：虫垂の疾患

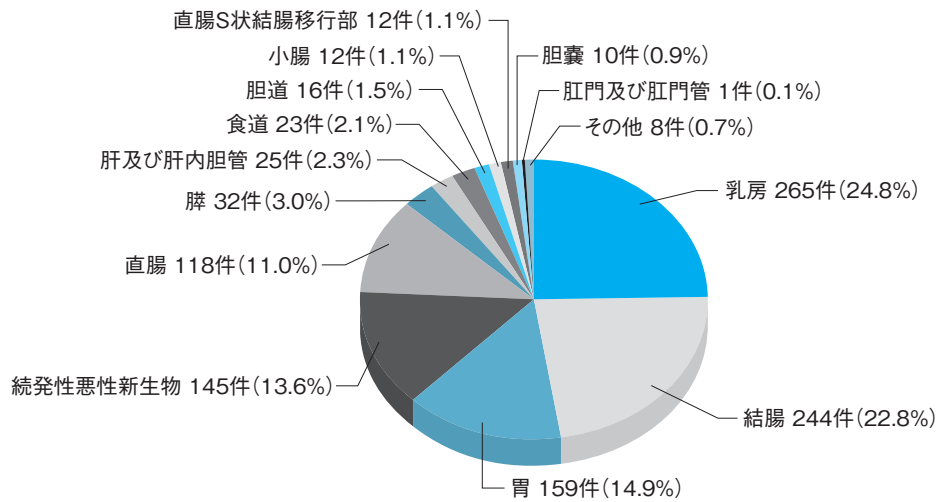
C76-C80：部位不明確, 続発部位及び部位不明の悪性新生物

Z80-Z99：家族歴, 既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者

### 3. 活動報告

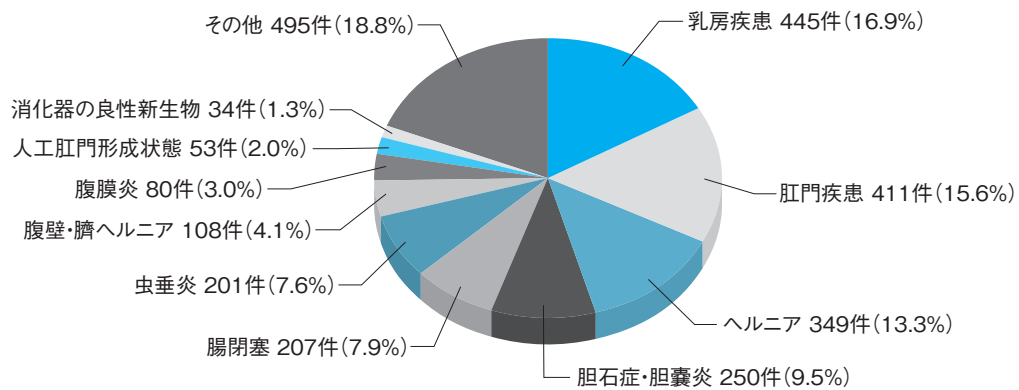
#### (1) 悪性新生物の疾患別頻度

総件数：1,070件



#### (2) 悪性新生物以外の疾患別頻度

総件数：2,633件



(3) 一般外科・小児外科手術数(2015年) 1,621例

①一般外科	1,444	(b)腸瘻造設	1
全身麻酔	1,045	(c)腸瘻閉鎖	19
脊髄麻酔	84	(d)腸吻合	0
局部麻酔	315	(e)結腸・直腸切除	9(2)
(ア)甲状腺		(f)大腸垂全摘	1
a 良性疾患		(g)癒着剥離	17
(a)部分切除	0	(h)経肛門／経仙骨	0
(b)葉切、垂全摘、全摘	19	(i)単開腹／その他	3
b 悪性疾患		b 悪性疾患	
(a)部分切除、垂全摘、他	5	(a)腸瘻造設	26
(b)全摘	4	(b)腸吻合	2
(イ)乳 腺		(c)小腸切除	3
a 良性疾患 摘出	7	(d)結腸切除	125(33)
b 悪性疾患		(e)直腸切除(高位、低位)	57(38)
(a)定型乳切	0	(f)経肛門／仙骨的切除	0
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	30	(g)骨盤内臓全摘	2
(c)Bt±SLNB	34	(h)大腸垂全摘	1
(d)乳房温存手術±SLNB	63	(i)単開腹／その他	0
(e)Tm他	0	(カ)虫垂炎(虫垂／回盲部切除)	113(27)
(ウ)食 道		(キ)肝/胆/膵/脾	
a 良性疾患	0	(a)肝部分切除	31(9)
b 悪性疾患		(b)肝区域／葉切除	18(1)
(a)胸部食道切除	3	(c)胆嚢床切除	3
(b)その他	0	(d)開腹胆嚢摘出術	19
(エ)胃・十二指腸		(e)腹腔鏡下胆嚢摘出術	147
a 良性疾患		(f)開腹胆管切開術	8
(a)胃切除、胃全摘	0	(g)胆管消化管吻合	1
(b)体網充填	10	(h)胆管切除	0
b 悪性疾患		(i)膵頭十二指腸切除(PD)	0
(a)幽門側胃切除	64(34)	(j)垂全胃温存PD	19
(b)胃全摘	41(9)	(k)膵尾部切除	7
(c)噴門側胃切除	1	(l)膵全摘	1
(d)腹腔鏡下胃切除	43	(m)膵部分切除	1
(e)胃腸吻合	9	(n)膵管空腸吻合	1
(f)楔状切除／十二指腸切除	10(5)	(o)脾摘	8(6)
(g)PD	0	(p)胃腸吻合	2
(h)単開腹／その他	3	(q)単開腹／その他	3
(オ)小腸／大腸		(ク)内分泌	
a 良性疾患		(a)副甲状腺	0
(a)小腸切除	23	(b)副腎	1

(ケ)ヘルニア	
(a)鼠径大腿	211
(b)腹壁・臍・閉鎖孔など	14
(コ)痔核痔瘻	21
(サ)局麻手術	
(a)摘出、生検	45
(b)その他	86
(シ)外傷／医原性	11
(ス)腹膜炎	24

(セ)腹腔内癌再発	19
(ソ)その他	26
②小児外科(全例全身麻酔)	177
(ア)新生児手術	10
(イ)鼠径ヘルニア	72
(ウ)虫垂切除	28(9)
(エ)その他	67

( )内はその内の鏡視下手術件数

(4) 一般外科 疾患・治療法別入院患者数・平均入院日数 (2015年)

入院患者総数 2,203人 (昨年2,105人)、平均入院日数11.0日 (昨年12.2日)

中央値7日 (昨年7日)

疾患名	治療法	患者数	平均入院期間(日)
イレウス	手術	47	10.9
	保存療法	118	11
外傷	手術	11	10.8
	保存療法	19	10.9
合併症治療・抗がん剤有害事象	保存療法	59	9
その他	手術	20	5.3
	保存療法	40	8.2
その他／悪性	手術	11	20.1
	保存療法	5	10.6
甲状腺／良性	手術	18	5.5
	保存療法	0	0
甲状腺／悪性	手術	10	6
	保存療法	0	0
内分泌	予定手術	1	7
非新生児	手術	143	3.2
	保存療法	9	5.9
腹腔内癌再発	手術	4	12.8
	保存・緩和療法	2	4.5
腹膜炎	手術	27	24.6
	保存療法	22	11.5
ヘルニア	手術	229	3
	保存療法	4	2.3
痔核・痔瘻	手術	22	6
虫垂	手術	112	5.2
	保存療法	22	10.4
胃十二指腸／良性	手術	9	12.8
	保存療法	10	12.1

疾患名	治療法	患者数	平均入院期間(日)
胃十二指腸／悪性	手術	140	18.2
	化学療法	6	5.8
	放射線療法	0	0.0
	緩和療法	20	20.0
	保存療法	43	16.2
肝胆膵脾	手術	255	10.8
	保存療法	93	11.2
	緩和療法	14	22.9
	化学療法	10	6.9
小・大腸／悪性	手術	259	18.3
	化学療法	21	5.1
	緩和療法	42	20.1
	保存療法	65	12.3
小・大腸／良性	手術	30	12.0
	保存療法	7	8.0
食道／悪性	手術	3	28.3
	保存療法	5	28.6
	化学/放治	9	6.9
	緩和療法	1	3.0
食道／良性	保存療法	1	11.0
乳腺／その他	手術	4	6.3
乳腺／悪性	手術	134	7.3
	保存療法	26	15.6
	緩和療法	8	25.3
	化学/放治	6	19